



G R O M e ステージボアアップキット 143cc

取扱説明書

- ・この度は、弊社製品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。
 - ・取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。
- イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合がありますので、予めご了承下さい。

商品番号：01-05 0316(カム無)
 : 01-05 0317(カム付属)
 適応車種及びフレーム番号
 GROM: J C 6 1 - 1 0 0 0 0 1 ~
 M S X 1 2 5 (タイ仕様)

特 徴

ノーマルシリンダーヘッドを使用し、ボアアップするキットです。
 ピストン径を 52.4mmから 56mmにボアアップし排気量を142.6ccに、圧縮比を9.3:1から11.0:1にアップさせます。
 弊社製エキゾーストマフラーとの組み合わせにより更なるパワーアップが望めます。

正しく安全にご使用頂く為に

！使用燃料についてのご注意！

このキットは、ノーマルに比べて高圧縮比となるように設定しておりますので、燃料は必ずハイオクタン価ガソリンを使用して下さい。レギュラーガソリンを使用すると、異常燃焼を起こして本来の性能を発揮しない上に、ピストンが壊れて重大な故障を起こす可能性があります。キット取り付け前に燃料タンクに残っていたガソリンにも注意して下さい。レギュラーガソリンが残っている場合は、必ずハイオクタン価ガソリンと入れ替えて下さい。

！F.I.コントローラーについてのご注意！

このキットのみで使用されますとエンジンが重大な故障を起こす可能性があります。必ず弊社製F.I.コントローラーを同時装着し、燃料噴射の補正を行って下さい。

！デコンプについて！

デコンプを取り付ける場合は純正カムシャフトの分解、プラー、プレス等の特殊工具が必要になります。デコンプパーツを取り付けない場合、エンジンの排気量、バッテリーの使用状況に拠ってはエンジンの始動が困難になる場合があります。

！スパークプラグについてのご注意！

スパークプラグは必ずCPR7EA 9(NGK)又はU22EPR 9(DENSO)相当に交換して下さい。その後、個々に合った番数を決定して下さい。

ご使用前に必ずお読み下さい

- ・取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、弊社は賠償の責を一切負いかねます。
- ・この製品を取り付けると原付2種の排気量を越えるため一般公道の走行は出来ません。一般公道を走行すると違反となり、運転者ご本人が罰せられる対象となります。
- ・MSX125は、タイ国内において予期せず仕様変更された場合、この製品が取り付け出来ない恐れがあります。予めご了承下さい。
- ・弊社製品を取り付け使用し、当製品以外の部品に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どのような事柄でも一切負いかねます。
- ・製品を加工等された場合や取り付けられた場合は、保証の対象にはなりません。
- ・他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。
- ・弊社製品は上記適合車種の専用品です。他の車両には取り付け出来ませんのでご注意下さい。
- ・弊社製品の取り付けには上記適合車種にあったホンダ純正サービスマニュアルを参照し、確実に作業を行って下さい。
- ・取り付けの際には工具等を準備し、取り付け要領に従って十分注意して作業を行って下さい。
- ・この取扱説明書やホンダ純正サービスマニュアルは基本的な技能や知識を持った方を対象としております。取り付け等の経験の無い方、工具等の準備が不十分な方は技術的信用のある専門店へご依頼されることをお勧め致します。
- ・必ず慣らし運転を行って下さい。
- ・このキットを取り付けると出力アップに伴い発熱量も増加します。長時間の高負荷走行には向きません。
- ・ボルト、ナット、ノックピン、パッキン類の一部は再使用しますが、摩耗や損傷が激しいものは再使用せず必ず新品のものをご使用下さい。
- ・運転者の体重や走行状況により2次減速比の変更が必要になる場合があります。



注意

この表示を無視した取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害が想定される内容を示しています。

- ・作業を行う際は、必ず冷間時(エンジンおよびマフラーが冷えている時)に行ってください。(火傷の原因となります。)
- ・作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。(部品の破損、ケガの原因となります。)
- ・規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行って下さい。(ボルトおよびナットの破損、脱落の原因となります。)
- ・製品およびフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、手を保護して作業を行って下さい。(ケガの原因となります。)
- ・走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みが無いかを確認し緩みがあれば規定トルクで確実に増し締めを行って下さい。(部品の脱落の原因となります。)
- シリンダーヘッドは、必ず規定トルクで増し締めを行って下さい。
- ・ガスケット、パッキン類は、必ず新品部品を使用して下さい。また、再使用する部品については、よく点検し摩耗や損傷がある場合は、必ず新品部品と交換して下さい。



この表示を無視した取り扱いをすると、人が死亡したり重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

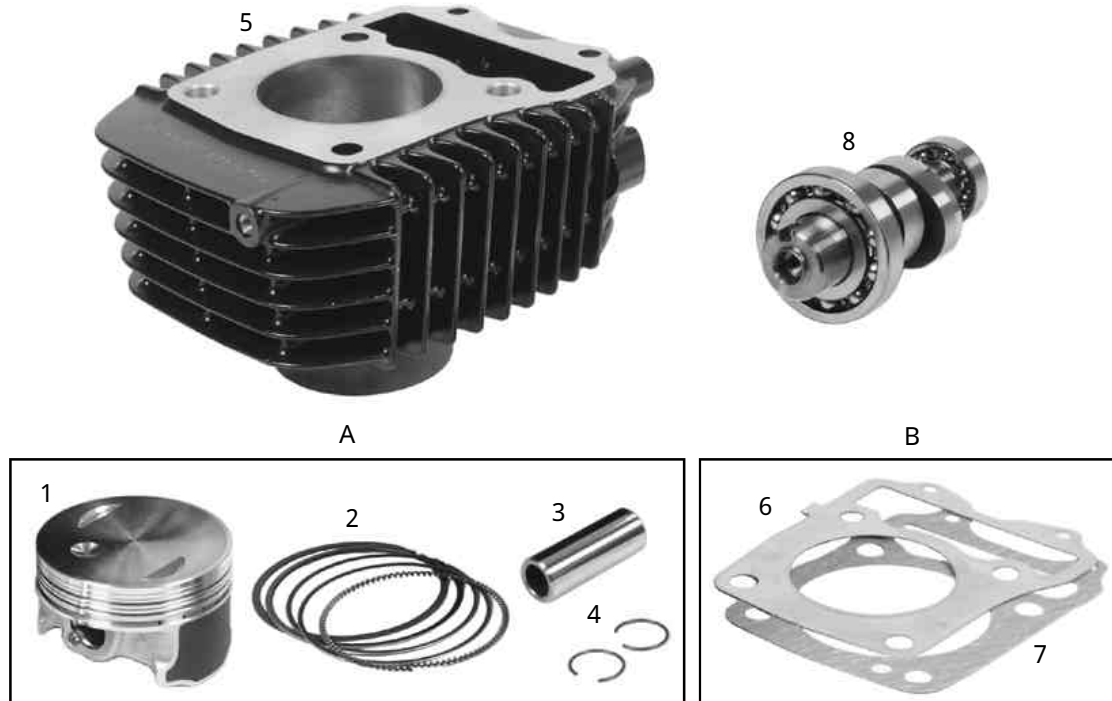
- ・エンジンを始動させての点検は、必ず換気の良い場所で行って下さい。密閉した様な場所では、エンジンを始動させないで下さい。
(一酸化炭素中毒になる恐れがあります。)
- ・走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。(事故につながる恐れがあります。)
- ・作業を行う際は、水平な場所で車両を確実に安定させ、安全に作業を行って下さい。(作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。)
- ・点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。
(不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。)
- ・点検、整備等を行った際、損傷部品が見つければ、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行って下さい。
(そのまま使用すると事故につながる恐れがあります。)
- ・ガソリンは、非常に引火しやすい為、一切の火気を避け燃えやすい物が回りに無い事を確認して下さい。又、気化したガソリンの滞留は、爆発等の危険性がある為、換気の良い場所で作業を行って下さい。

性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で製品および価格は予告無く変更されます。予めご了承下さい。

クレームについては、材料および加工に欠陥があると認められた製品に対してのみ、お買い上げ後1ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。

この取扱説明書は、本製品を破棄されるまで保管下さいます様お願い致します。

～ 商 品 内 容 ～



番号	部 品 名	個数	リペア品番	入数
1	ピストン	1	1 3 1 0 8 G P H T 6 0	1
2	ピストンリングセット 5 6 mm	1	1 3 0 1 1 5 6 0 T 0 0	1
3	ピストンピン 1 3 × 3 6	1	0 0 0 1 0 0 9 1 (サークリップ付)	1
4	ピストンピンサークリップ 1 3 mm	2	0 0 0 1 0 0 0 3	6
5	シリンダーCOMP.	1	0 1 0 1 0 1 1 3	1
6	シリンダーヘッドガスケット	1	1 2 2 5 1 K 2 6 T 0 0	1
7	シリンダーガスケット	1	0 0 0 1 0 3 7 0	1
8	スポーツカムシャフト	1	0 1 - 0 8 - 0 1 7 1	1

記号	部 品 名	リペア品番
A	ピストンキット	0 1 0 2 0 1 6 3
B	ガスケットキット	0 1 1 3 0 1 2 0

0 1 - 0 5 0 3 1 6には8のスポーツカムシャフトは付属しません。

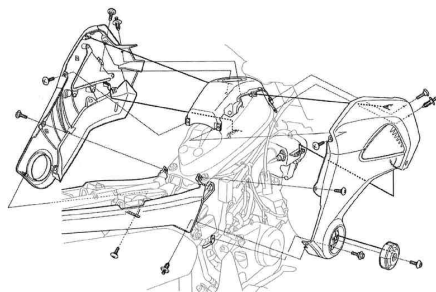
リペアパーツは必ずリペア品番にてご発注下さい。品番発注でない場合、受注出来ない場合もあります。予めご了承下さい。尚、単品出荷出来ない部品もありますので、その場合はセット品番にてご注文下さいます様お願い致します。

～取り付け要領～

- ・水平な場所でメンテナンススタンドにて車両をしっかりと安定させる。

外装部品の取り外し

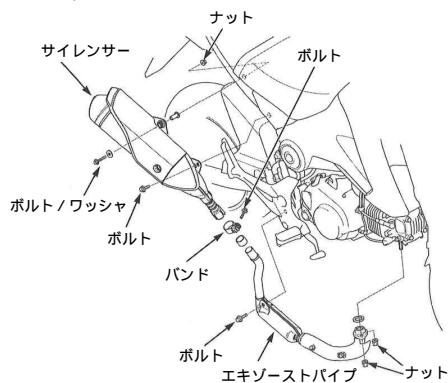
- ・シートを取り外し、ホンダ純正サービスマニュアルを参考にして左右のシュラウドを取り外す。



(ノーマル)エキゾーストマフラーの取り外し

エキゾーストマフラーが変更されている場合は、そのエキゾーストマフラーの取り扱い説明書に従う事。

- ・バンドのボルトを緩め、サイレンサーのボルト及びボルト/ナットを取り外してサイレンサーをエキゾーストパイプから抜き取る。
- ・シリンダーヘッド部のナット2個とボルト1個を取り外し、エキゾーストパイプを取り外す。



インレットパイプ/スロットルボディー/エアクリナーケースの取り外し

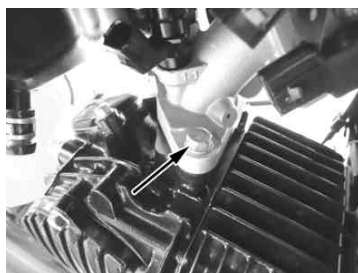
- ・スロットル開度センサー3 Pカブラ、インジェクター2 Pカブラ、ソレノイド2 Pカブラの接続を外す。



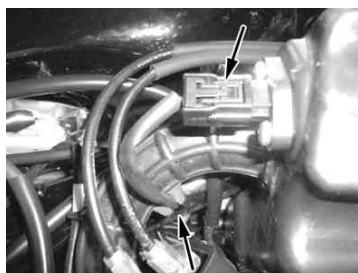
- ・ボルトワッシャを取り外し、スロットルドラムカバーを取り外す。



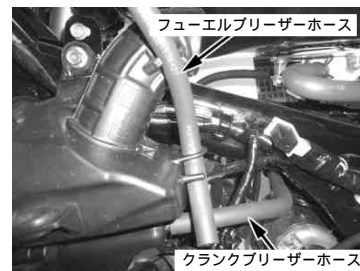
- ・インレットパイプのボルト2本を取り外し、インシュレーターを取り出す。インシュレーター両面のOリング2個の紛失に注意する事。



- ・エアクリナーケースの吸気温センサーのカブラの接続を外し、コネクティングチューブのクランプから配線を外す。



- ・エアクリナーケースからクランクケースブリーザーホース、フューエルブリーザーホースの接続を外す。



- ・フレームのガイドからスロットルケーブルを外す。



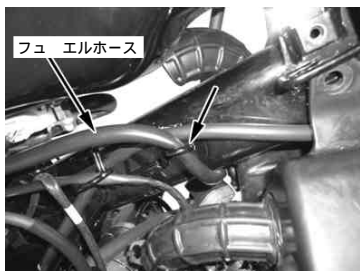
- ・フレームのガイドからフューエルホースを外す。



- ・エアクリナーケースとフレームを止めているボルト2本を取り外す。



- ・インレットパイプ/スロットルボディ/エアクリーナーケースがつながたまま取り外しながらフレームのガイドからフュエルホースを取り外す。
エンジン、フレーム間から抜き取り、フュエルホースに負担が掛からないようにフレーム等に置いておく。



シリンダーヘッドの取り外し

- ・ボルト1本を取り外し、シリンダーヘッドのO₂センサーガードを取り外す。O₂センサーキャップを回すのを1/2回転以下に抑えながらセンサーから取り外す。
O₂センサーは衝撃に弱いため取り扱いに注意。
落としたり衝撃を与えた場合は新品に交換する事。



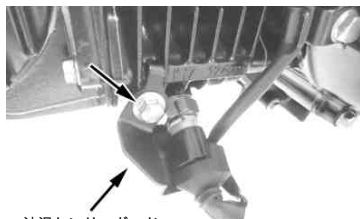
O₂センサーガード



- ・スパークプラグキャップを取り外し、スパークプラグを取り外す。

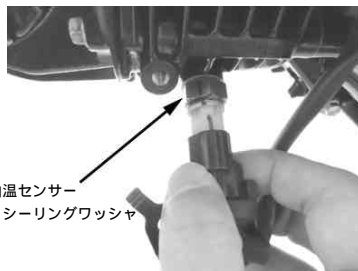


- ・ボルトを取り外し、シリンダーの油温センサーガードを外す。



油温センサーガード

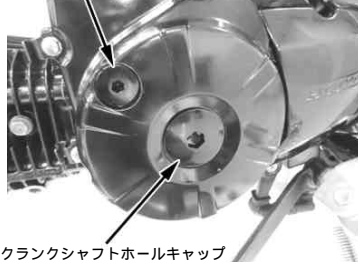
- ・油温センサーのカブラの接続を外す。油温センサー及びシーリングワッシャを取り外す。



油温センサー / シーリングワッシャ

- ・タイミングホールキャップ及びクランクシャフトホールキャップを取り外す。

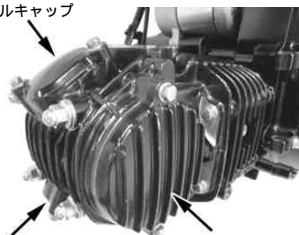
タイミングホールキャップ



クランクシャフトホールキャップ

- ・ボルト2本をそれぞれ取り外しシリンダーヘッドLサイドカバー/オリング、インテーク側、エキゾースト側のホールキャップ/オリングを取り外す。

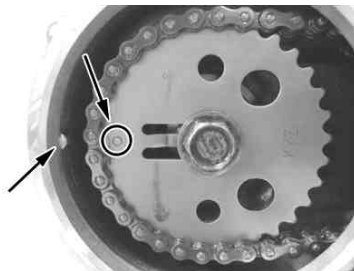
ホールキャップ



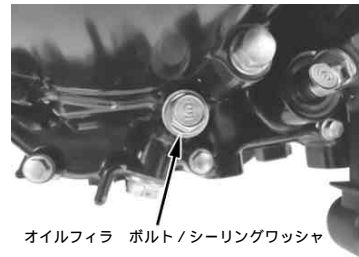
ホールキャップ

シリンダーヘッドLサイドカバー

- ・クランクシャフトを反時計方向に回し、カムスプロケットの“O”マークをシリンダーヘッドの突起に合わせる。

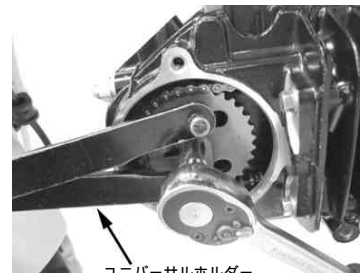


- ・オイルフィラ ボルトとシーリングワッシャを取り外す。



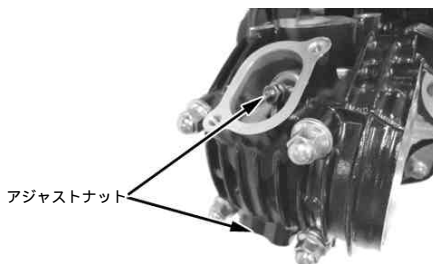
オイルフィラ ボルト/シーリングワッシャ

- ・ユニバーサルホルダーにてカムスプロケットを固定し、カムスプロケットボルトを取り外し、カムスプロケットを取り外す。

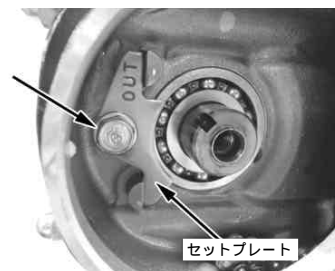


ユニバーサルホルダー

- ・インテーク、エキゾースト共にロッカーアームのアジャストナットを緩め、アジャストスクリューを緩めておく。セットプレートのボルトを緩めておく。

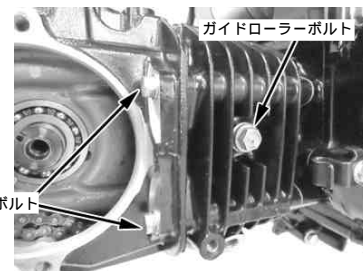


アジャストナット



セットプレート

- ・シリンダーのガイドローラーボルトを緩めておく。シリンダーヘッドのサイドボルト2本を取り外す。

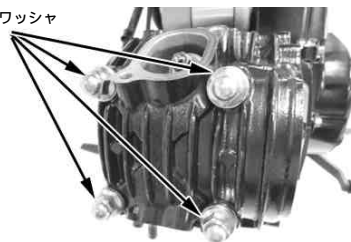


ガイドローラーボルト

サイドボルト

- ・シリンダーヘッドナット 4 個を対角に数回に分けて緩め、ワッシャ 4 個と共に取り外す。

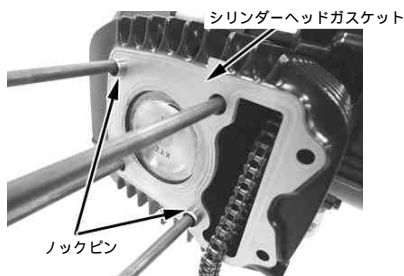
ナット/ワッシャ



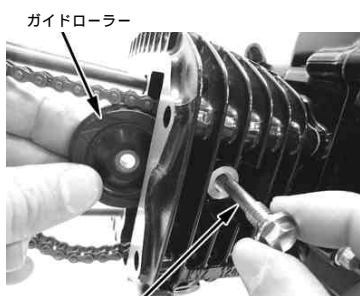
- ・シリンダーヘッドを取り外す。

シリンダー、ピストンの取り外し

- ・シリンダーヘッドガスケットとロックピン 2 個を取り外す。



- ・シリンダーのガイドローラーボルト/シーリングワッシャを取り外し、ガイドローラーを取り出す。

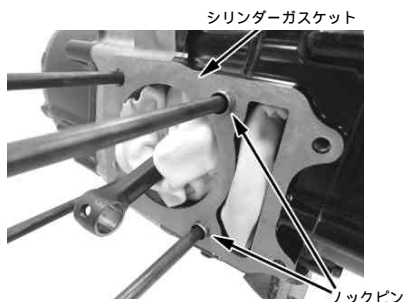


ガイドローラーボルト/シーリングワッシャ

- ・シリンダーを取り外す。
クランクケース内に部品が入り込まないようにクランクケース開口部をウエス等でふさいでおく。
- ・ピストンピンサークリップの片側を外し、ピストンピンを外し、ピストンを取り外す。

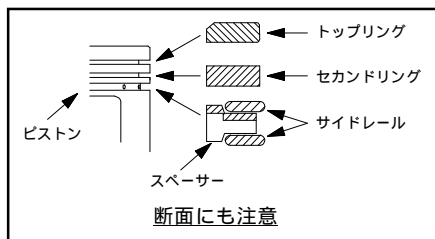
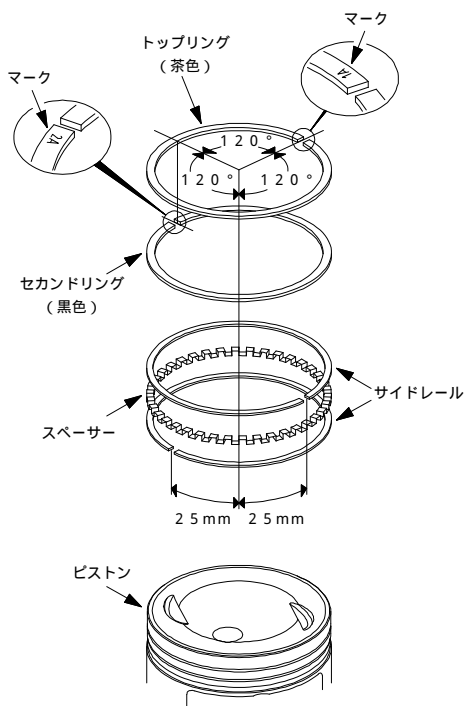


- ・シリンダーガスケットとロックピン 2 個を取り外す。クランクケースにシリンダーガスケットがこびり付いている場合はスクレイパーにて剥がす。

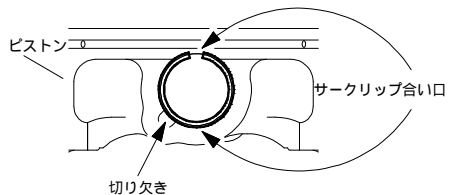


ピストンの取り付け

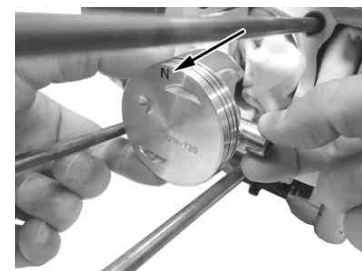
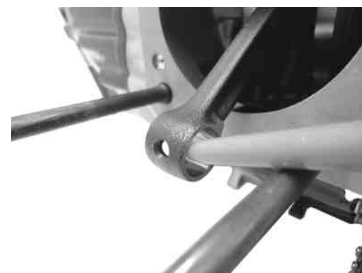
- ・付属のピストンのピストンリング溝をエアブローし、各ピストンリングを取り付ける。2NDリング及びTOPリングは文字面を上にして取り付ける。ピストン及びピストンリングを傷ついたり、破損させない事。取り付け後、リングがなめらかに回転する事を確認する事。リングの合口は、図のように120度間隔で取り付ける事。



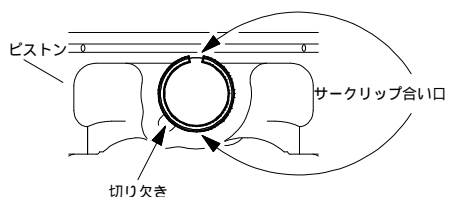
- ・片側のピストンピン穴のサークリップ溝にサークリップを取り付ける。ピストンピンサークリップの合い口は切り欠き部を避けてピストン上下方向に向けて取り付ける。



- ・コンロッド小端部、ピストンピン穴にエンジンオイルを塗布しピストンピンにモリブデングリスを塗布しピストン頭部にある "IN" マークをインテーク側に向け、ピストンピンを取り付ける。

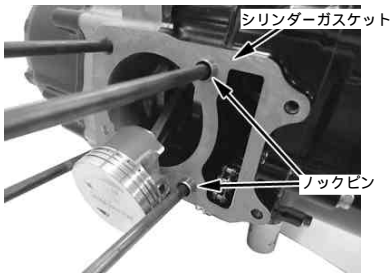


- ・ピストンピンサークリップ溝にピストンピンサークリップを取り付ける。ピストンピンサークリップの合い口は切り欠き部を避けてピストン上下方向に向けて取り付ける。

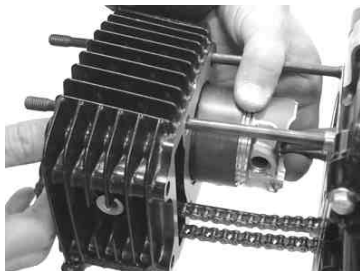


シリンダーの取り付け

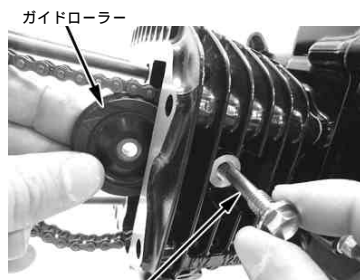
- ・クランクケースのシリンダー取り付け面を清掃し、クランクケース開口部につめていたウエスを取り外しておく。
- ・クランクケースにノックピン2個とキット内の新品のシリンダーガスケットを取り付ける。



- ・ピストンリング部にエンジンオイルを塗布し、なじませる。シリンダー内周部を清掃した後、エンジンオイルを塗布する。カムチェーンをシリンダーに通し、ピストンリングを指で圧縮しながらシリンダーを取り付ける。



- ・ガイドローラーをシリンダーの取り付け穴に合わせ、ガイドローラーボルト/シーリングワッシャを仮止めしておく。



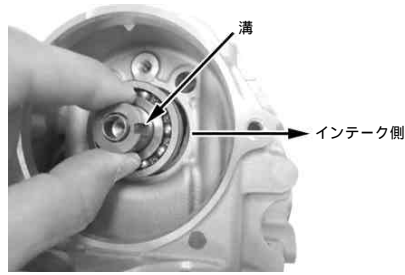
ガイドローラーボルト/シーリングワッシャ

カムシャフトの取り外し

- ・ボルトを取り外し、セットプレートを取り外す。ロッカーアームシャフト、ロッカーアーム、ニードルベアリングを取り外す。



- ・カムシャフトの溝をインテーク側に向け、シリンダーヘッドから取り外す。



デコンプパーツの取り付け

- ・デコンプパーツを取り付けない場合、エンジンの排気量、バッテリーの使用状況に拠ってはエンジンの始動が困難になる場合がある。取り付けない場合は「カムシャフトの取り付け」からの手順に従う事。取り外し、取り付けにはベアリングブーラーやプレス等の特殊工具を使用し、作業を行う事。
- ・ノーマルカムシャフト、キット付属のカムシャフトからE X側のベアリングを取り外す。
- ・ノーマルカムシャフトからデコンプパーツを取り外す。
- ・取り外した逆の手順でキット付属のカムシャフトにデコンプパーツを取り付ける。



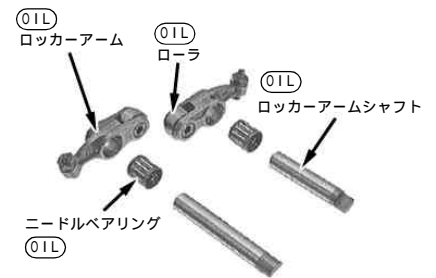
- ・各部にモリブデン溶液を塗布する。
- ・ベアリングを圧入する。

カムシャフトの取り付け

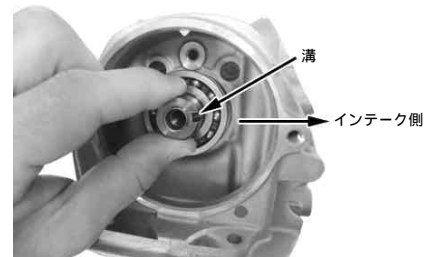
- ・キットのカムシャフトのカム摺動部、ベアリングにエンジンオイルを塗布する。



- ・ロッカーアームシャフトの摺動部とニードルベアリングにエンジンオイルを塗布する。ロッカーアームの内面とローラの摺動部にエンジンオイルを塗布する。エキゾーストロッカーアームシャフトはインテークロッカーアームよりも長い。



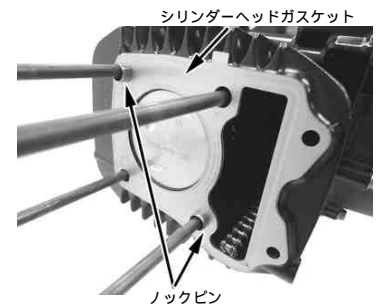
- ・カムシャフトの溝をインテーク側に向け、カムシャフトをシリンダーヘッドに取り付ける。



- ・ロッカーアーム、ニードルベアリング、ロッカーアームシャフトをシリンダーヘッド内に取り付け。
- ・セットプレートの“OUT”マークを外側にし、シリンダーヘッドにセットし、ボルト1本にて仮止めする。

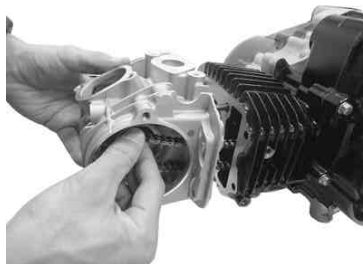
シリンダーヘッドの取り付け

- ・シリンダーとシリンダーヘッドの合わせ面を清掃する。ノックピン、キット内のシリンダーヘッドガスケットをシリンダーに取り付ける。



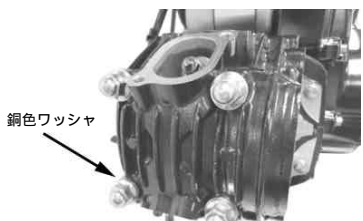
ノックピン

- ・カムチェーンをシリンダーヘッドに通し、シリンダーヘッドを取り付ける。



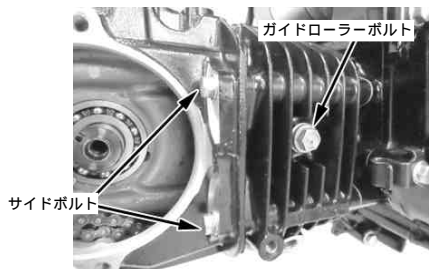
- ・銅色のワッシャをヘッドに向って左下に、他の銀色のワッシャ3個もセットし、シリンダーヘッドナット4個、シリンダーヘッドのサイドボルト2本を取り付ける。
- ・シリンダーヘッドナット4個を対角に数回に分けて締め付け、規定トルクにて締め付ける。

△注意：必ず規定トルクを守る事。
トルク：2.4 N・m (2.4 kgf・m)



- ・シリンダーヘッドのサイドボルト2本を交互に数回に分けて締め付け、規定トルクにて締め付ける。

△注意：必ず規定トルクを守る事。
トルク：1.0 N・m (1.0 kgf・m)

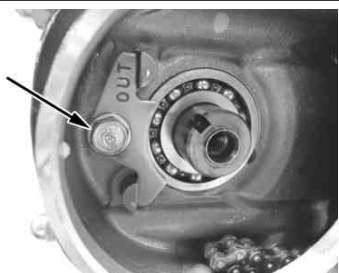


- ・仮止めしていたシリンダーのガイドローラーボルトを規定トルクにて締め付ける。

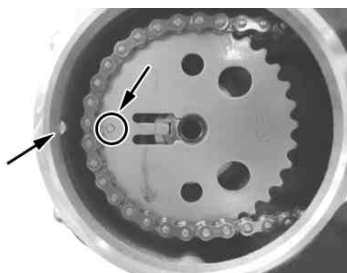
△注意：必ず規定トルクを守る事。
トルク：1.0 N・m (1.0 kgf・m)

- ・仮止めしていたカムシャフトのセットプレートのボルトを規定トルクにて締め付ける。

△注意：必ず規定トルクを守る事。
トルク：1.2 N・m (1.2 kgf・m)

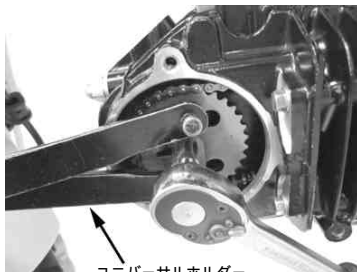


- ・フライホイールの“T”マークがクラッチカバーの合わせマークに合っているか確認し、カムスプロケットの“O”マークがシリンダーヘッドの突起と合うようにカムチェーンを付け、カムシャフトの溝にカムスプロケットの突起を合わせて取り付ける。



- ・ユニバーサルホルダーにてカムスプロケットを固定し、カムスプロケットのボルトを規定トルクにて締め付ける。

△注意：必ず規定トルクを守る事。
トルク：2.7 N・m (2.8 kgf・m)



- ・クランクシャフトを反時計方向に2回転回し、フライホイールの“T”マークをクラッチカバーの合わせマークに合わせ、カムスプロケットのタイミングマークがシリンダーヘッドの合わせマークと合っていることを確認する。

- ・ボルト穴にエンジンオイルを少量注入し、オイルフィルターボルトとシーリングワッシャを取り付け、規定トルクにて締め付ける。

△注意：必ず規定トルクを守る事。
トルク：1.0 N・m (1.0 kgf・m)



バルブクリアランスの調整

- ・フライホイールの“T”マークがクラッチカバーの合わせマークに合い、且つカムスプロケットの“O”マークがシリンダーヘッドの突起と合っている事を確認する。
- ・ロッカーアームのアジャストスクリューとバルブステムエンドの間にシクネスゲージを差し込み、アジャストスクリューを締め込んでいき、シクネスゲージが少し抵抗がある程度に引き抜けるぐらいに合わせてアジャストナットを締め付ける。

バルブクリアランス

I N : 0.10 mm

E X : 0.17 mm

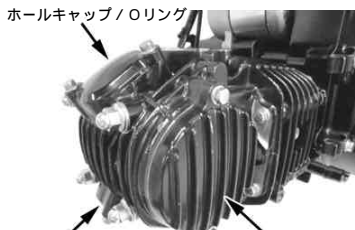
△注意：必ず規定トルクを守る事。
トルク：9 N・m (0.9 kgf・m)



- ・バルブクリアランス調整後、反時計方向にフライホイールを2回転回した後で“T”マークとタイミングマークをそれぞれ合わせ、バルブクリアランスが変化していないか点検する。変化している場合は再度調整し、合うまでこの作業を繰り返す。

- ・シリンダーヘッドL サイドカバー/Oリングをシリンダーヘッドに取り付け、ボルト2本を取り付ける。インテーク側、エキゾースト側それぞれのホールキャップ/Oリングをボルト各2本にて取り付ける。

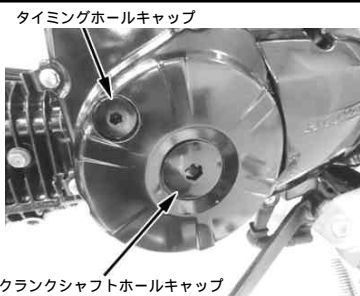
⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
トルク：10 N・m (1.0 kgf・m)



ホールキャップ/Oリング

- ・タイミングホールキャップ及びクランクシャフトホールキャップにOリングが付いている事を確認して取り付け、規定トルクにて締め付ける。

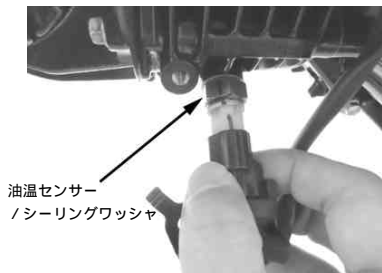
⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
タイミングホールキャップ
：6 N・m (0.6 kgf・m)
クランクシャフトホールキャップ
：8 N・m (0.8 kgf・m)



タイミングホールキャップ

- ・油温センサー及びシーリングワッシャをシリンダーに取り付け、規定トルクにて締め付ける。油温センサーのカブラを接続する。

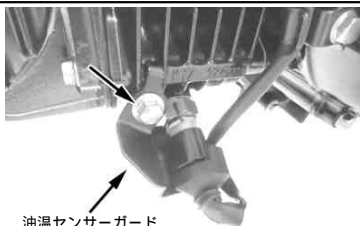
⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
トルク：14.5 N・m (1.5 kgf・m)



油温センサー / シーリングワッシャ

- ・油温センサーガードをボルト1本にてシリンダーに取り付ける。

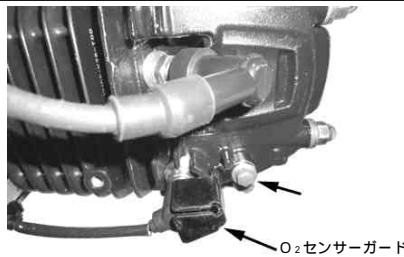
⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
トルク：12 N・m (1.2 kgf・m)



油温センサーガード

- ・O₂センサーのキャップをまっすぐに接続する。O₂センサーガードをボルト1本にてシリンダーヘッドに取り付ける。

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
トルク：12 N・m (1.2 kgf・m)



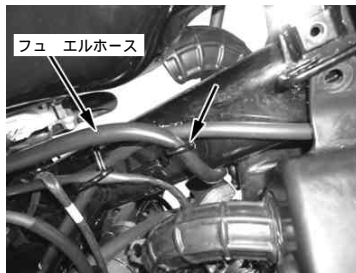
O₂センサーガード

- ・スパークプラグを取り付け、規定トルクにて締め付ける。スパークプラグキャップを取り付ける。

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
トルク：16 N・m (1.6 kgf・m)

インレットパイプ/スロットルボディ / エアクリーナーケースの取り付け

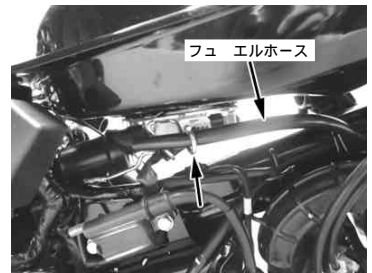
- ・インレットパイプ/スロットルボディ / エアクリーナーケースをセットしながら、フレームのガイドにフュエルホースをセットし、エアクリーナーケースのボルト2本を仮止める。



フュエルホース

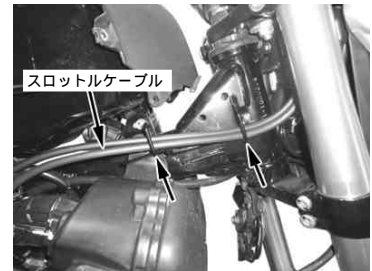


- ・フレームのガイドにフュエルホースをセットする。



フュエルホース

- ・フレームのガイドにスロットルケーブルをセットする。



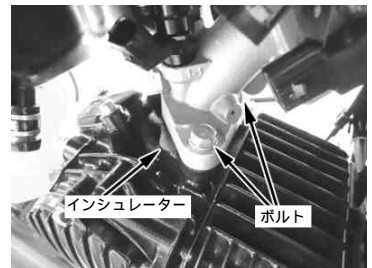
スロットルケーブル

- ・インシュレーター両面のOリング2個が付いている事を確認して、インレットパイプとシリンダーヘッドの間にセットする。この時、インシュレーターのピンはシリンダーヘッド側に向ける。ボルト2本にてインレットパイプをシリンダーヘッドに取り付ける。

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
トルク：12 N・m (1.2 kgf・m)



ピン

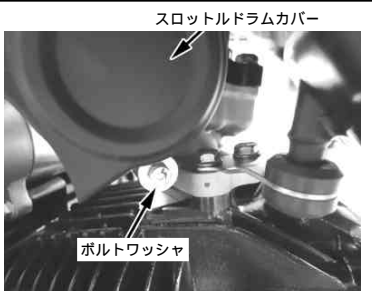


インシュレーター

ボルト

- ・スロットルドラムカバーをボルトワッシャにて取り付ける。

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
トルク：5.2 N・m (0.5 kgf・m)



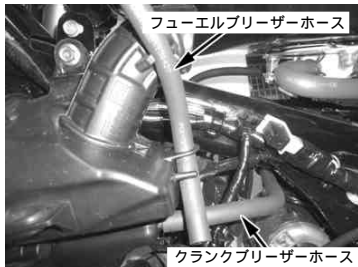
スロットルドラムカバー

ボルトワッシャ

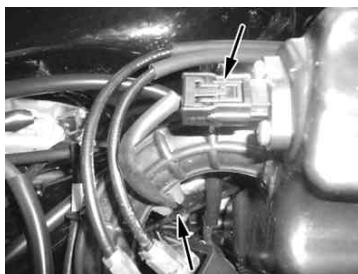
- ・仮止めていたエアクリーナーのボルト2本を規定トルクにて締め付ける。

△注意：必ず規定トルクを守る事。
トルク：12 N・m (1.2 kgf・m)

- ・エアクリーナーケースにクランクケースブリーザーホース、フューエルブリーザーホースを接続する。



- ・エアクリーナーケースに吸気温センサーのカブラを接続し、配線をコネクティングチューブのクランプに取り付ける。



- ・スロットル開度センサー3Pカブラ、インジェクター2Pカブラ、ソレノイド2Pカブラを接続する。

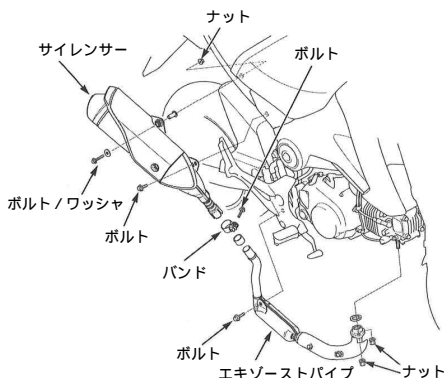


F I C O N 2 取り付けの際には、その取扱説明書に従い作業を行う事。

(ノーマル)エキゾーストマフラーの取り付け

エキゾーストマフラーがノーマル品から変更されている場合は、そのエキゾーストマフラーの取扱説明書に従う事。

- ・ナット2個とボルト1個にてエキゾーストパイプを仮止める。サイレンサーをエキゾーストパイプに挿し込みサイレンサーのボルト及びボルト/ナットを仮止める。



- ・各部を規定トルクにて締め付ける。

△注意：必ず規定トルクを守る事。

エキゾーストパイプ部のナット

：27 N・m (2.8 kgf・m)

エキゾーストパイプ部のボルト

：27 N・m (2.8 kgf・m)

サイレンサーのボルト/ナット

：27 N・m (2.8 kgf・m)

サイレンサーのボルト

：27 N・m (2.8 kgf・m)

バンドのボルト

：20 N・m (2.0 kgf・m)

外装部品の取り付け

- ・ホンダ純正サービスマニュアルを参考にして左右のシュラウドを取り付ける。

株式会社 **SPECIAL PARTS 武川**

〒584-0069 大阪府富田林市錦織東三丁目5番16号

TEL 0721-25-1357

FAX 0721-24-5059

お問い合わせ専用ダイヤル 0721-25-8857

URL <http://www.takegawa.co.jp>